

1 単元名 「歴史を継承する長浜～曳山祭のルーツを探る～」

2 単元の目標

- 長浜は様々な伝統や文化がどのように受け継がれてきたのか、町の魅力が伝わるようにリーフレットやスライドにまとめることができる。 (知識及び技能)
- 自分の経験やパンフレット、インタビューなどをもとに時代の背景や地域の人々の思いを考えたり、考えたことをについてリーフレットやスライドを通して伝えたりすることができる。 (思考力・判断力・表現力等)
- 地域の人々が受け継いできた伝統や文化を今後も引き継いでいきたいという目的意識をもち、意欲的に調べ学習をしたり、リーフレットやスライドにまとめたりすることができる。 (主体的に学習に取り組む態度)

3 単元について

(1) 教材観

本単元では、「曳山祭りのルーツを探る」、「長浜の伝統や文化」を教材として取り上げる。

長浜小学校区には、歴史ある曳山祭があり、毎年短時間下校となり児童が出演したり、客として観て回ったりすることができる。児童にとっても非常に馴染み深いものである。身近なところに曳山博物館や携わる人々が居られ、直接訪れたり、話を聞いたりすることができる環境にあるため、長い歴史をもつ伝統や文化に携わる人々や地域の人々がどうしているのか生の体験や声を聞くことができる。現在まで受け継がれてきたものや人々の思い、誇りを受け止め、自分たちが引き継いでいきたいと思いをもち、調べたり、体験したりすることで、自分たちから発信し、広めていきたいという意識をもって活動することができるようになるよさがある。

(2) 児童観

本学級の児童も、約9割の児童が曳山祭に出たことがある、または観に行ったことがあると答えた。しかし、曳山祭自体がどういう歴史をもっているのか、なぜ行われているのかと答えられる児童は少ない。

生活科や道徳等、他教科においても「曳山祭」や「伝統文化」に触れる機会は多くあり、話し合いや調べ学習に意欲的に取り組む姿が見られる。知っているようで知らなかったことを自覚することで、より多角的な面から物事を捉えることができるようになってきているこの期に本課題を取り上げることの意義は大きい。

(3) 指導観

本単元の指導に当たっては、まず、写真を用いて「長浜クイズ」を行うことで「歌舞伎

＝曳山祭」だけではなく、発祥や歴史的価値にも触れることで様々な視点から見つめることができることに気づかせる。また、曳山祭には友だちや地域の人々が出演することを想起させ、より身近に感じることで意欲をもたせたい。

次に、曳山博物館の方や携わる方々から話を聞いたり、実際に訪れたりすることでこれまでの歴史や思いを学ばせる。その上で、調べたことなどをもとにこれまでの歴史の背景であったり人々の思いを想像したりすることで、数多くの人に関わり受け継いできたことをつかませるとともに、それを自分たちが受け継ぐ立場にいることに気づかせるようにする。

また、曳山祭の演目の一部を演技体験することで、難しさや楽しさを味わいながら自分事としてとらえられるようにする。

そして、調べてきたことを下学年や地域の方へ分かりやすく伝えるという相手意識をもってまとめることで、受け継ぎ、伝えていくことの大切さを実感させるとともに、自分たちのまちの魅力を知り、郷土愛についても深められるようにする。

(4) ESD との関連

- ・本学習で働かせる ESD の視点（見方・考え方）
 - 多様性…長浜には、これからも大切にしていきたい伝統や文化、よさがいろいろある。
 - 責任性…未来へ引き継いでいくのは、ここに住む自分たちの使命である。
- ・本学習を通して育てたい ESD の資質・能力
 - 多面的・統合的に考える力
 - 今も存在し、受け継がれているという事実だけでなく、これまでの歴史や経緯、そこに関わる様々な立場の人々の思いを考えることができる。
 - 進んで参加する態度
 - 自分たちのまちの伝統や文化を知り、さらに、よいところを探そうとする。
- ・本学習で変容を促す ESD の価値観
 - 世代間の公正
 - 長い歴史の中で引き継がれてきた伝統や文化を次の世代にも引き継いでいかなければならない。
- ・達成が期待される SDGs
 - 4 教育
 - 1 1 まちづくり
 - 1 2 生産と消費

4 単元の評価規準

(ア) 知識及び技能	(イ) 思考力・判断力・表現力等	(ウ) 主体的に学習に取り組む態度
①長浜にある様々な伝統文化の歴史や経緯などについて理解している。	①資料をもとに地域の人々やそこに携わる人々の思いを考えたり、聞いたりしたことをもとにまとめている。	①自分たちのまちの伝統や文化を知り、さらによいところを探そうとしている。
②調べたり、尋ねたりして獲得した知識を、言葉や図、絵などを用いてそれら	②伝統や文化について学んだことや考えたことをリーフレ	②伝統や文化に携わる人々の思いを知り、自分にできることを模索しようとして

を関係づけながらまとめる技能を身に付けている。	ットやスライドに表現している。	いる。 ③地元の伝統や文化を大切にしていきたいという目的をもち、意欲的に調べ学習に取り組もうとしている。
-------------------------	-----------------	---------------------------------------------------------

5 単元の指導計画（全13時間）

学習活動	○学習への支援	○評価・備考
1 「長浜クイズ」をもとに、長浜の歴史ある伝統や文化について知り、今後の活動の見通しをつかむ。 ・豊臣秀吉とゆかりのある場所がある。 ・ユネスコ無形文化遺産に登録されているものがある。 ・朱印地となって栄えたまちが長浜である。	○曳山祭につながる写真を少しずつ提示し、多様な面から曳山祭に着目させることで、調べ学習の手がかりとなるようにする。	ウ① (態度)
2 曳山祭について知る。 ・曳山祭は秀吉によって始まった。 ・町衆が曳山を飾り立てて発展してきた。 ・歌舞伎を演じ、伝えられてきた。	○自分たちの知っていることを挙げてまとめる中で、実は知らなかったことがあることを考えさせる。 ○演者として出ている児童の経験談や客としての経験談を挙げることで立場によって見方が変わることを感じさせるようにする。	ア① (知・技)
3 曳山祭について調べる。 ・疑問に思ったことや気になったことを調べよう。 ・どうして長く続いてきたのか秘訣を調べよう。	○家族にインタビューをして、魅力について考えさせることで、歴史のある祭であるということを改めて考えさせるようにする。	ウ① (態度)
4 曳山博物館へ行こう ・職員の方に疑問に思ったことや気になったことを尋ねる。 ・曳山祭の魅力や携わる人々の思いを聞く。 ・山車は大きくて迫力がある。	○実際に携わっている人や専門家の方からより詳しい知識や身近な思いを聞くことで、地域に根付いていることを着目させるようにする。 ○曳山祭に対しての誇りを聞くことで郷土愛の観点も意識させること	ア① (知・技) イ① (思判表) ウ③ (態度)
5 曳山祭に出ている人や携わっている人の話を聞いて、思いを知ろう。 ・歴史のある祭りで、親から子へ孫	○曳山祭に対しての誇りを聞くことで、今後の学習へとつながるように考えさせるようにする。	

<p>へと伝統を引き継いでいきたかったんだ。</p> <p>6 曳山祭を体験しよう</p> <ul style="list-style-type: none"> ・手や目の動きを細かいところまで気をつけないといけないんだな。 ・しゃぎりは吹けるようになった。 <p>7、8、9</p> <p>曳山祭について調べたことをまとめる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・屋台や演者の友だちをめぐって行っていたが、祭自体にも関心が深まった。 	<p>○内容や実情に応じて、G Tを招いたり、質問表に答えてもらったりすることで人々の思いに触れられるようにする。</p> <p>○長浜の魅力を伝えるために、実際のパンフレットやHPなどを参考にさせることで見出しや書き方について意識をさせて書くようにする。</p>	<p>イ② (思判表)</p> <p>ウ②③ (態度)</p>
<p>10 「長浜の魅力を伝えよう」発表会をしよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・こんなものが長浜にはあるんだ。 ・これからも引き継いでいかないといけないな。 <p>13 活動の振り返りをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・これからは自分たちが伝えていかないといけないな。 ・長浜はとても魅力あふれるまちだな。 	<p>○内容の質や話しの構成についても意識させ、相手意識をもたせるようにする。</p> <p>○今後の生き方や伝統や文化への関わり方について着目させるようにする。</p>	<p>ア① (知・技)</p> <p>イ② (思判表)</p> <p>ウ③ (態度)</p>